

なんとも言えない、とニュアンスも変わってきている。粘り強く交渉してゆきたい。

◎本校には13人の臨採者がいる。本部からも色々支援をしてもらっている。年齢が高く、採用試験を受けられない人もいる。毎日忙しく正規の教員もほとんどが分掌を掛け持ちしている。高齢層の方への支援、給与面での改善、採用試験の年齢制限の撤廃などを求めて欲しい。

→昨年は800人を超える方が臨時・非常勤。ここ何年かは800人を超えており、多いと感じている。負担がかかっているのは、そのとおり。昨年、法律の改正があり2020年度から会計年度任用職員制度が導入される。細かい部分を交渉してゆきたい。また、2020年度から岩手の臨時的任用教職員も公立学校共済に入れる予定。今年から空白期間がなくなった県や、採用試験の年齢制限撤廃の県も出てきている。岩手もそうなるようにとりくみたい。

◎来客が多い。授業に支障も出かねない。専門学校長（元管理職）も年に3～4回も来る。本部で話をして改善して欲しい。確証はないが、県教委から来客は全部会えという話もある。

→管理職がまず前面に立って外部対応をすべきと、県に話している。

《意見》

◎現在の安倍政権はひどい。しかしまだ支持率が3割ある。このような大会では安倍政権を許さないという発言が聞こえてくるが、なかなか外に広がらない。色々な団体と協力しながら進めてほしい。



みずおか俊一さんのご挨拶

「みずおか俊一さんのプロフィール」

1956年兵庫県生まれ。

大学卒業後に兵庫県で中学校教員、90年から兵庫県教職員組合勤務を経て、2004年に参議院議員。（2期12年）

11年内閣総理大臣補佐官、13年参議院内閣委員会委員長などを歴任。



議事運営委員



議長